

吉林省檔案館
編
廣西師範大學出版社

日本關東憲兵隊報告集（第四輯）2

廣西師範大學出版社

· 桂林 ·

目 录

1	支那驻屯宪兵队军事郵便检阅周报(昭和十三年一月八日)	〇〇一
2	支那驻屯宪兵队普通郵便检阅周报(昭和十三年一月九日)	〇二九
3	支那驻屯宪兵队不稳刊行物周报(昭和十三年三月八日)	〇五五
4	支那驻屯宪兵队普通郵便检阅周报(昭和十三年三月十一日)	〇七二
5	支那驻屯宪兵队军事郵便检查旬报(昭和十三年四月八日)	一〇九
6	支那驻屯宪兵队通信检阅月报(昭和十四年九月)	一五三
附:	残件	一六三
7	支那驻屯宪兵队通信检阅月报(昭和十四年五月三十日)	一九一
附:	残件 1	二〇四
	残件 2	二三九
	残件 3	二四六
8	支那驻屯宪兵队通信检阅月报(昭和十四年六月二十七日)	二六一
附:	残件 1	二八九

残件 2		三〇二
残件 3		三二七
残件 4		三三九
支那驻屯宪兵队通信检阅月报(昭和十四年七月三十日)		三四四
附:		
残件 1		三六三
残件 2		四一
残件 3		四一五
残件 4		四二八

18. 受

支那

昭和十三年一月八日

支那

（自十二月廿六日至十二月廿二日）

隊長 大野 廣一

首題ノ件左記報告「通牒」ス

左記

要旨

一、期間中取扱件數一八九〇〇件押收切除其他處置セルモノ六六件
著信後發見處置セルモノ一七件

二、内容等主ナルモノ次ノ如シ

匯分件内容ノ概・要

軍機事項	一五	軍ノ行動決定、戦闘詳報等ヲ記載
造言蜚語	四	友軍ノ損傷、凱旋期日ノ憶測等ヲ記載
治安關係事項	二	取調ノ苛酷ナル狀況、徵發ノ情況等ヲ記載
反軍事項	二	戦闘ヲ恐ルルカ如キ事項ヲ記載
戰爭ノ悲惨	九	苦戰ノ實情、戰傷死者ノ情態等ヲ記載
禁制品封入	八	主トシテ猥褻寫眞三枚乃至七枚ヲ封入
其他	二	上官ヲ誹謗スル事項ヲ記載
著信後發見處置セルモノ	七	支那新聞發行ノ抗日並反戰的宣傳「ピラ」ヲ送付

三、所見

狀況右ノ如ク前週シ

モ惡劣ナル

漸減シツツアルハ歡フヘキ現象ナル
テ之カ取締警防ヲ尙一層徹底セシム

發送先

甲(6)乙(1)丙(1)各軍司、甲(6)乙(2)丙(1)各兵站監、防衛隊長(1)特務部長(1)
天津、北京、冀東、山海關各特種(1)宣傳部(1)茂川機(1)憲司、朝司、
關司、憲校、內地、朝鮮、臺灣、滿東、上海各隊長各(1)寫隊下分隊長

(關係部隊長へハ別途通牒)

() 内ハ部數ヲ示ス

一軍機事項

一 徳川

内容ノ概要

近日中ニ我カ部隊ハ天津ニ集結シ月十五日頃大連方面へ出發スル

以カ部隊モ大連集結ノ内命ニテ大忙ニ極メテ居マス航空隊モ暖カイ地方ニ移動シ大混雜ラレテ居ル

南苑飛行場ニモ海軍航空隊カ参リ毎日ノ様ニ清南山東地方ソレニソグエト國境近ク爆撃シテ居ル

我カ会社製作ノ投下器(三十キリ三ヶ連三百五十キリ)陸用彈モ來テ居ル

本部ハ石家荘ニ集合

來ルニ十四五日頃ニ集結ノ

12.17 徳川部隊 固塚

中市左

12.20 徳川部隊 佃部隊 細谷 龍二

東京府西多摩郡小里村 小丹波 平原代助

12.13 徳川部隊 佃部隊 田田 三郎

大阪市港区 無川北通 柿原鉄雄

山瀬部隊倉

持隊

村田鶴一

大分縣佐賀隊

須賀本由又吉方

寺井恒隆

我々空軍、山瀬部隊モ南苑飛行場

ニテ約々月整備ヲ行ヒ十二月二十日

ヨリ徳縣ニ前進スル事ニナツタ

山下

内 容 概 要

情況急ニテ我カ駐屯軍小林砲兵部隊戰砲隊第三中隊ハ十八日午前零時出動準備ヲ整ヘテ濟南ノ戦斗ニ参加スヘク直ニ出動ノ命令アリ

第十師団ハ現在濟南方面ノ戦線ニ活躍ノ様テス……我々ハ來ルヘキ化學戰ノ準備テス、私ハ瓦斯兵テス、中隊テ四名テス、

晴日

12.17.

山部隊

部隊大橋隊

大見正男

愛知縣

郡蟹江

杉正亮

愛知縣泊石海

郡安城村

大見福太郎

12.15

山部隊大賀

部隊

本田生

兵庫縣城崎

郡三方村栗

山内

鳥屋清子

右同

本田米吉

大崎市港區

通三ノ二四

三田秀

十月十九日朝三時又第一線ニ出發

シマス行先ハ濟南

敵ハ多數

12.17

小林部隊
山田隊
西牧政一

兵庫縣朝來
郡東河村
小山牧太郎

居リ上海ノ近クニモ行クラレイ

私等ノ山砲大隊ハ今度三ヶ中隊
増設サレ内地カラ未教育補充兵カ
百名近ク入隊シマス 私等ノ大隊テ
教育シテ新設中隊ニ編入駐屯
軍モ愈々北京附近ニ永久ニ駐屯
ニ決レタラレク一ヶ師団ニ増大サレマス
大同附近ヘハ後宮第二十六師団
カ出來マレタ常備兵団ハ五十個
師団ニナルトノ事デス
滿洲タツテ目下三十万ノ軍隊カ
居リマス

12.15 宮本 隊本 主計 古田尚昌 由明	
内容、概要	一、砲兵第二十聯隊第二大隊ノ 九月十五日間ニ於ケル戦斗詳報 数一七葉ヲ封入

12.22
北支那
兵団
隊
古賀
野中
見範
攻

12.21 右 同 谷澤光雄	兵庫縣武庫 郡住吉村 六九〇 坪田利男
軍機ニ関スル陣中日誌ヲ封入 自十月一日 至十月十五日 陣中日誌 第十四号、西田装甲列車隊 某戦斗ニ依ッテ名譽ノ戦死傷 者ハ實ニ八百数十名ト言ハテナル モ自分達ハ第二補充テ現在テハ第六 次ノ補充ヲ以テ尚完全ナル戦時 一聯隊ノ人員ニ不足ノ有様ニ アル	

一、鯉登

藤
月
日
系
係
係

10.21

乙集團
佐藤部隊
篠村部隊
内藤留次
庫縣
神崎町
川辺村
内藤啓次

内
容
、
概
要

一、佐藤

下馬家莊附近ニ於ケル福井少尉
手記セル戰鬥詳報ヲ封入

内
容
、
概
要

一、山田

魏村附近ニ於ケル板垣兵団山田部隊
佐野隊第二小隊長中村少尉ノ手
記セル戰鬥詳報ヲ封入
(一点)

10.21

山
佐
步兵
中野正三
中野重
セ、

祭信

祭信

12.18

北京ニテ

寛一

山口縣玖珂

郡岩岡町

葭屋商店

容ノ概要

夜中ニ出動命令下リ本月十八
 日午後四時濟南ニ向ケ出奔ス
 只今準備中ニ百名丈先奔トナリ岡田
 大尉ト共ニ先行ス北京ニ於ケル計
 画ハ一時中止

二、造言蜚語

二伊田

日付	12.22
伊田部 堀越部	大西恒彦
堀越部 大西恒彦	糟谷貞子
内容	概要
本月二十五日頃方ライヨク凱旋ノ途ニ上ルコトニナルヲシイ	

二南部

日付	12.21
北支隊遣出 部隊南部々隊	井上隊 万辺義三
兵庫縣津 由良町南	万辺甚之助
内容	概要
七十七聯隊ノ第五中隊長後藤藤次尉始メ全滅シタノヲス	日本軍何千人ノ戦死者ヲ出シテ計ナリ常ナ損テス

二所不

内容ノ概要

發信
月日

受

12. 18

天津日本租界
天津電話局
氣付
笹田金十郎

新京義経路
電々社宅三号
笹田鶴枝

南京占領ト新政府樹立テ北京
天津駐在モ一度スルコト、ナ
リ特務機關軍司令部其、他各
機關全部北京ニ移轉スルコト、
ナリマシタ

12. 15

於北京
和平

横浜市中区
野毛町三
菊及物店
父上

近イ内ニ北京大寺ヲ引揚ケテ八宝山
ノ山奥ニ在ル農園ヘ移ル様テス
何レモ初年兵教育ノ為メト思
ヒマス召集兵ハ明年一月八日ニ
内地ヘ飯ル様テス自分等ハ五
月ノ様テス

三、治安ニ關係アル事項

三、徳川

發信月日	
發信	12 19. 北支那天津 徳川兵団 島田部隊 瀨崎三郎
發信	東京市 板橋区下石神 井二一三七 東敦子
内容ノ概要	徴發モ一度ヤ二度テナシ長イ間毎日ノ様ニ行フテ部落民コソ飛ンタ災難テス自分等ノ喰物モナイ位ヲ徴發サレテ居マス家ト言ハ敗残兵ノ隠レ場所トモナルノテ飛行場周田ノ部落ハ大半爆撃サレタリ歩兵隊力掃蕩ニ行ツテ焼打等此ノ寒空ニ住ム家ハナク食物ハナク人民コソ四苦八苦テス云々